



由宇で
いこう!!

由宇でいこう!!

for adult only
マシグース・スタジオ

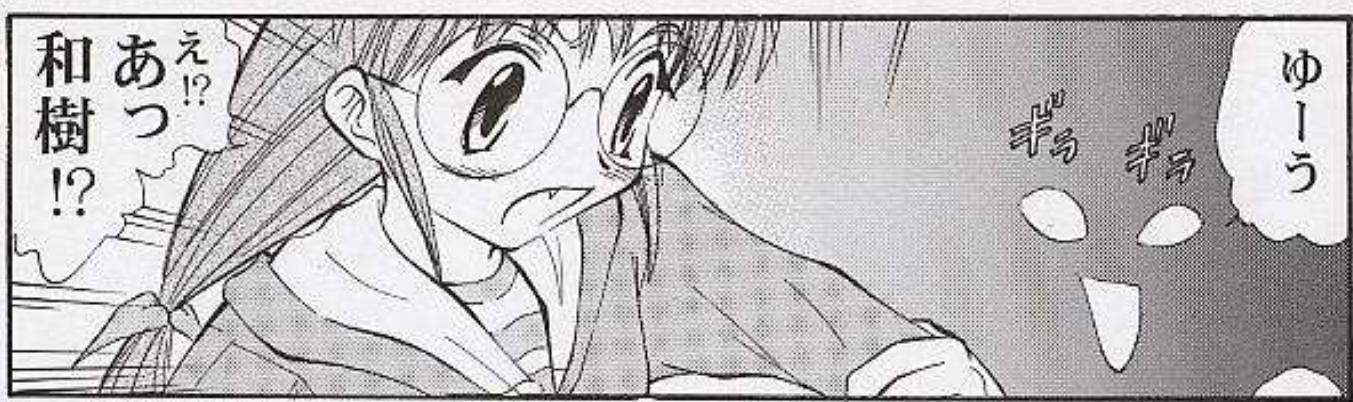
目

次

☆表紙＆裏表紙／深紫・フ 2

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| □ 05~16P | 「由宇そのマンガ道!!」 | 深紫'72 |
| □ 17~32P | 「明日晴れたら」 | KiKa=ざる |
| □ 33~44P | 「野望の壁」 | 六条 真 |
| □ 45~48P | 「由宇、遊、白書」 | Fuu |
| □ 49~60P | 「イブの記憶」 | 藏 王 |
| □ 61~62P | イラスト | 来道 明 |
| ・ 64~65 | コメント | みんな |
| ・ 63 | お気に入り | 佐亞子 |





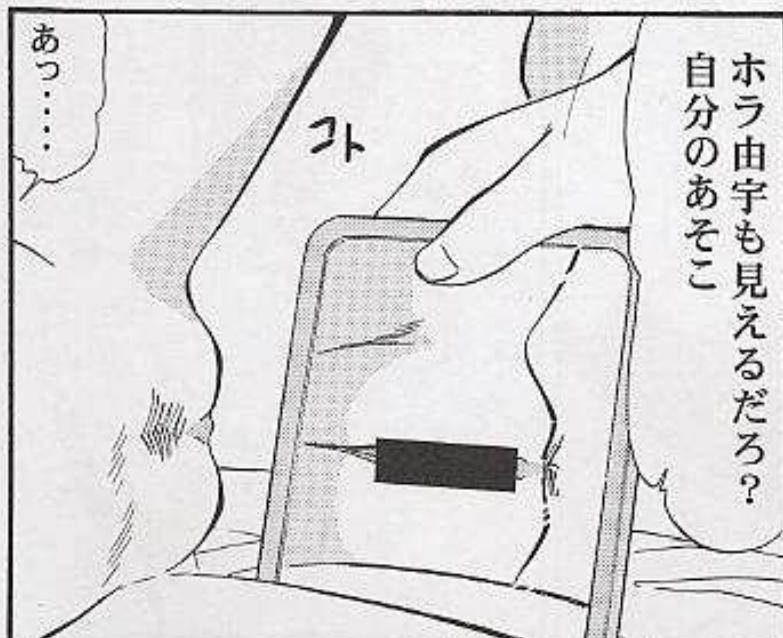


由宇、そのマジガ道!!

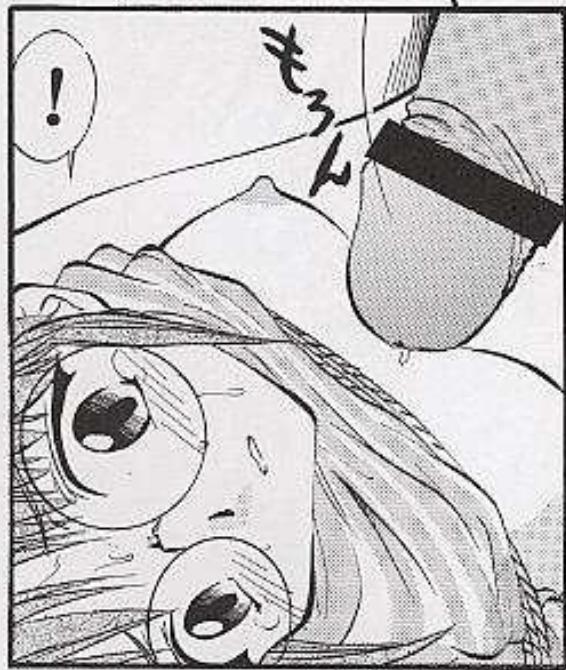
深紫'92

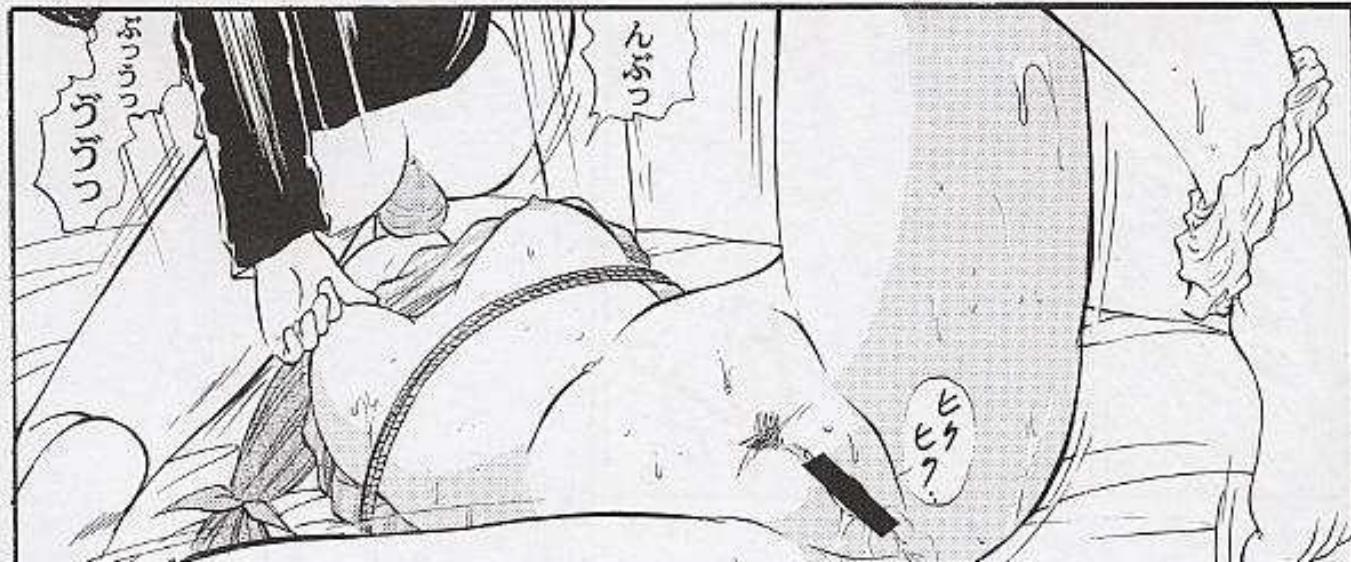
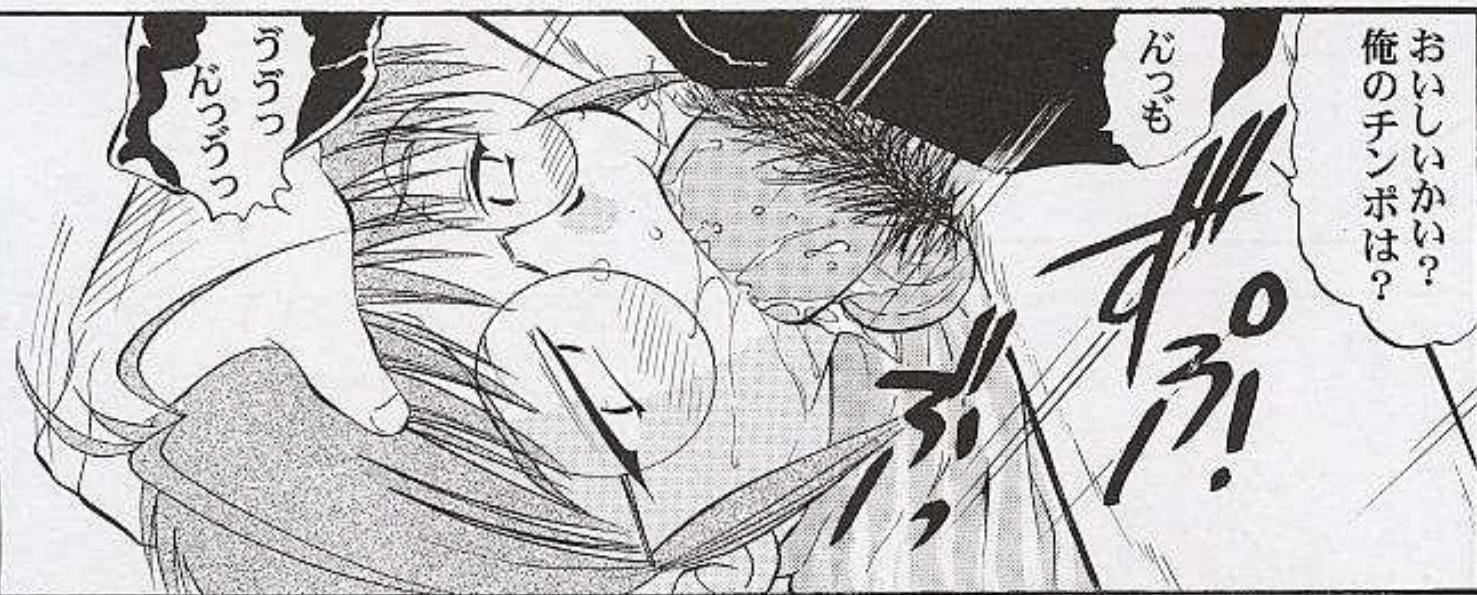
由宇一





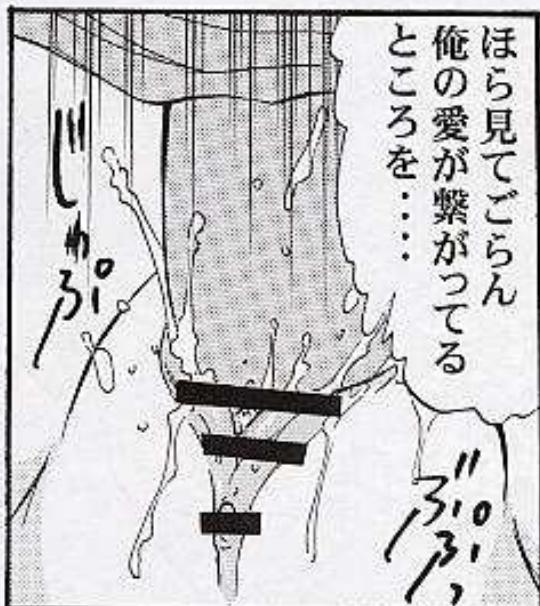


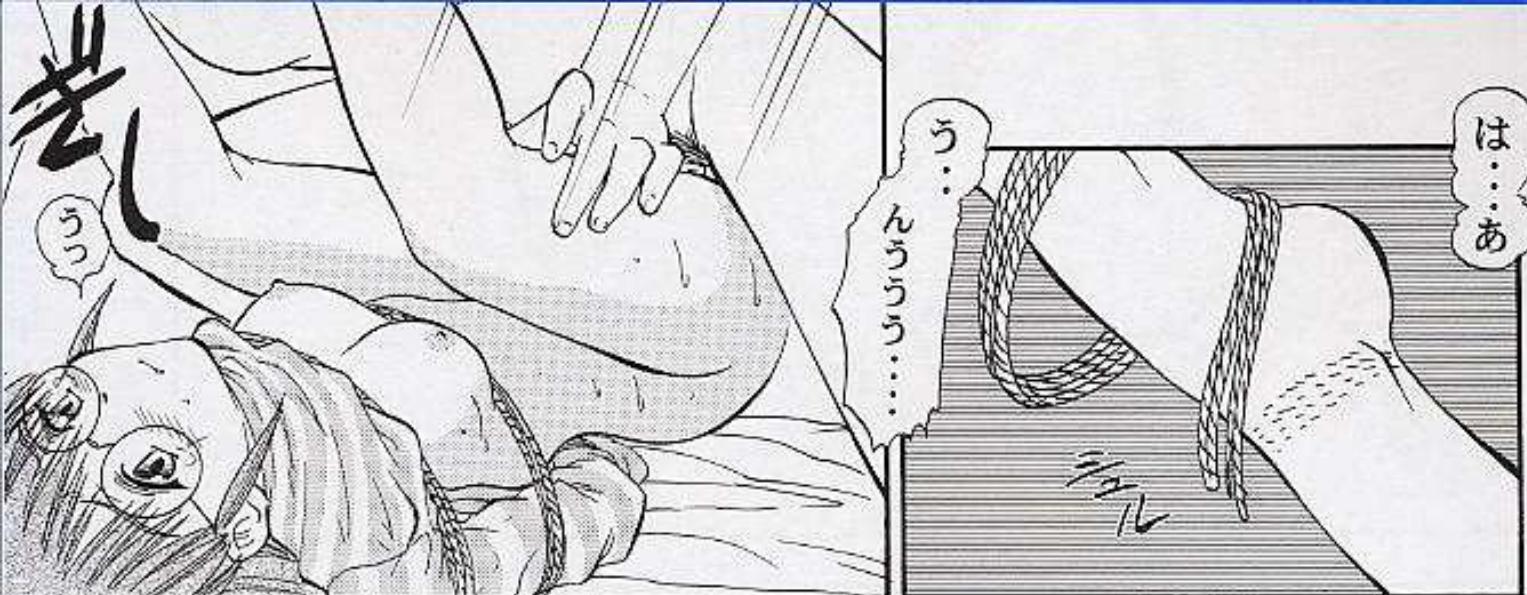










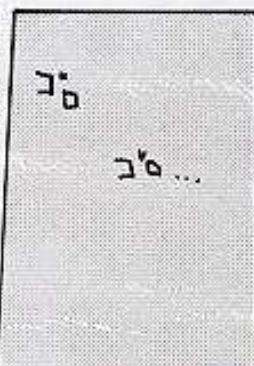




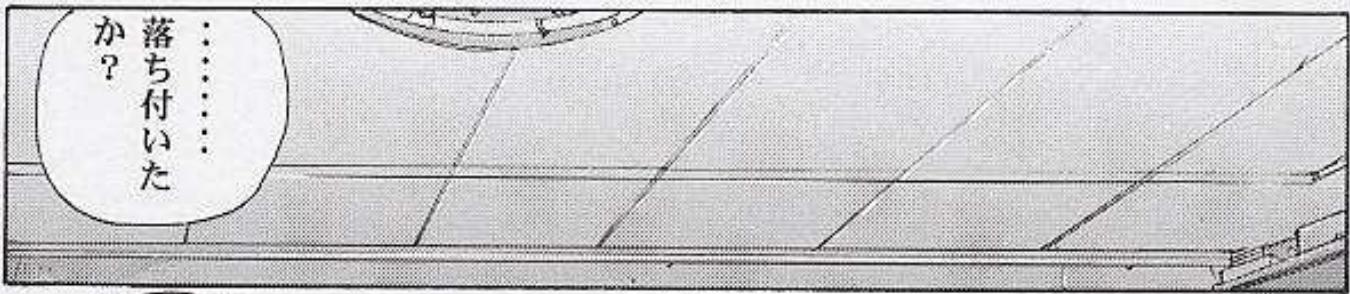


明日晴れたら

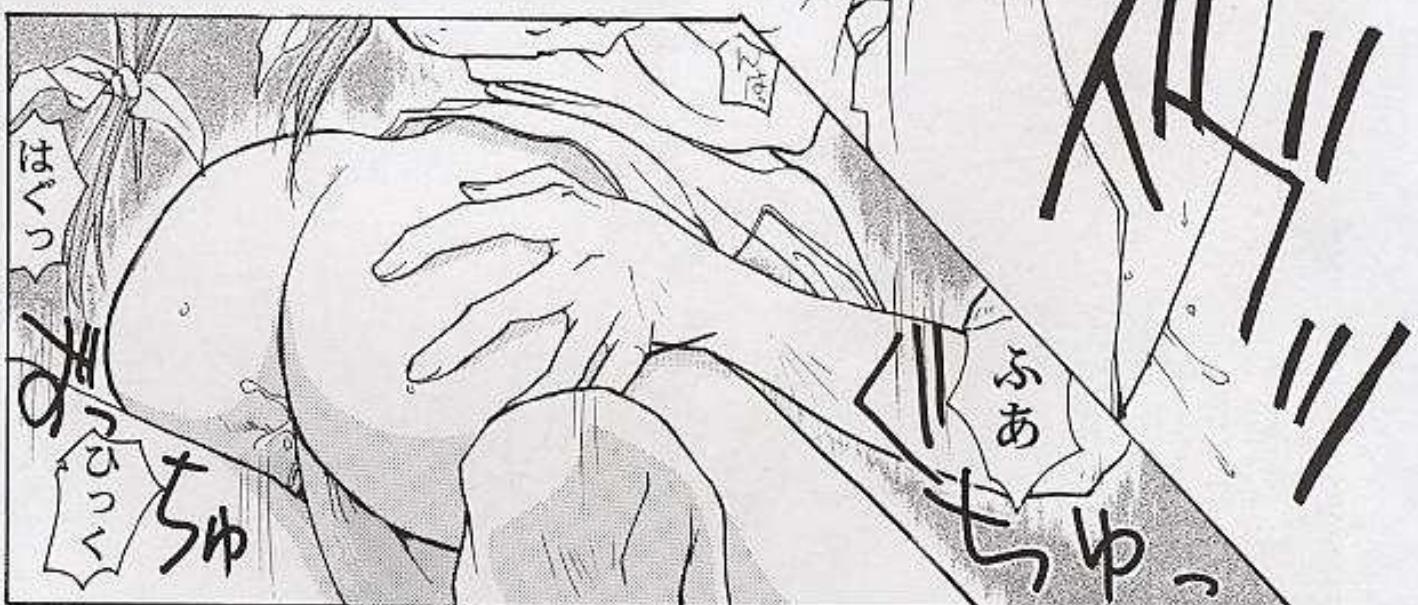
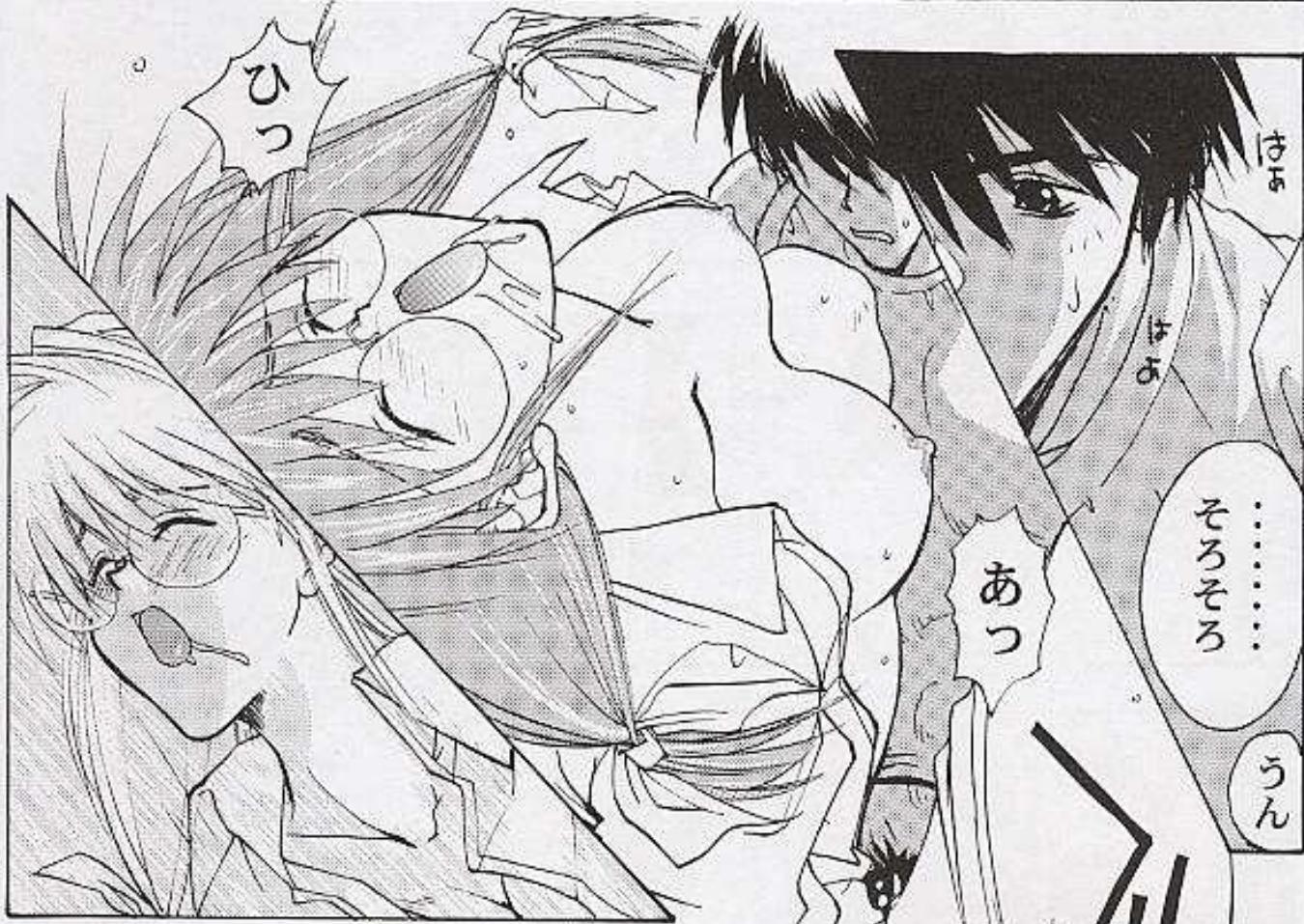
kika=ざる

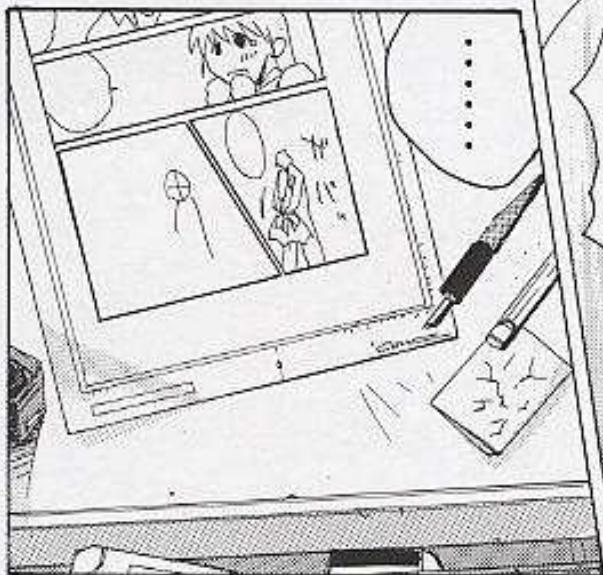






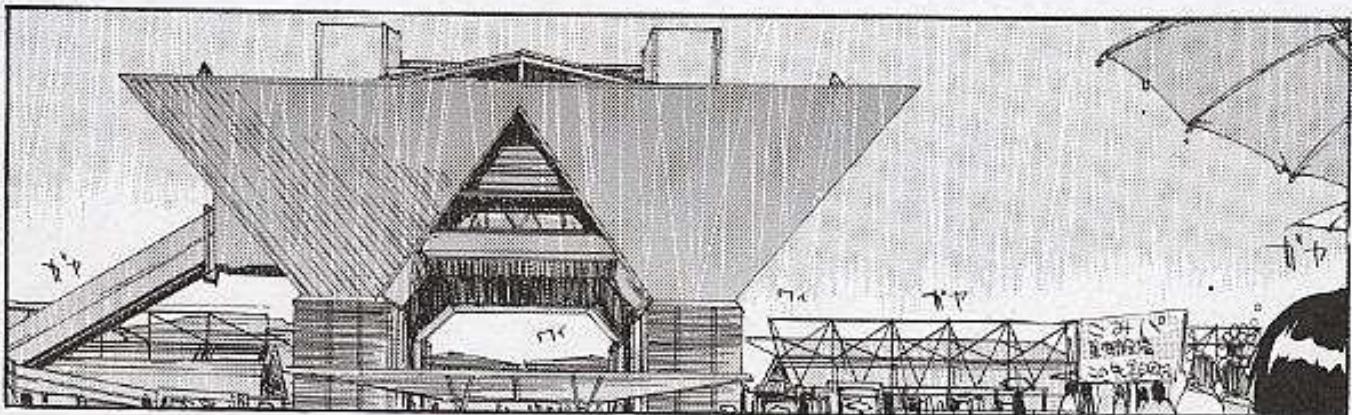


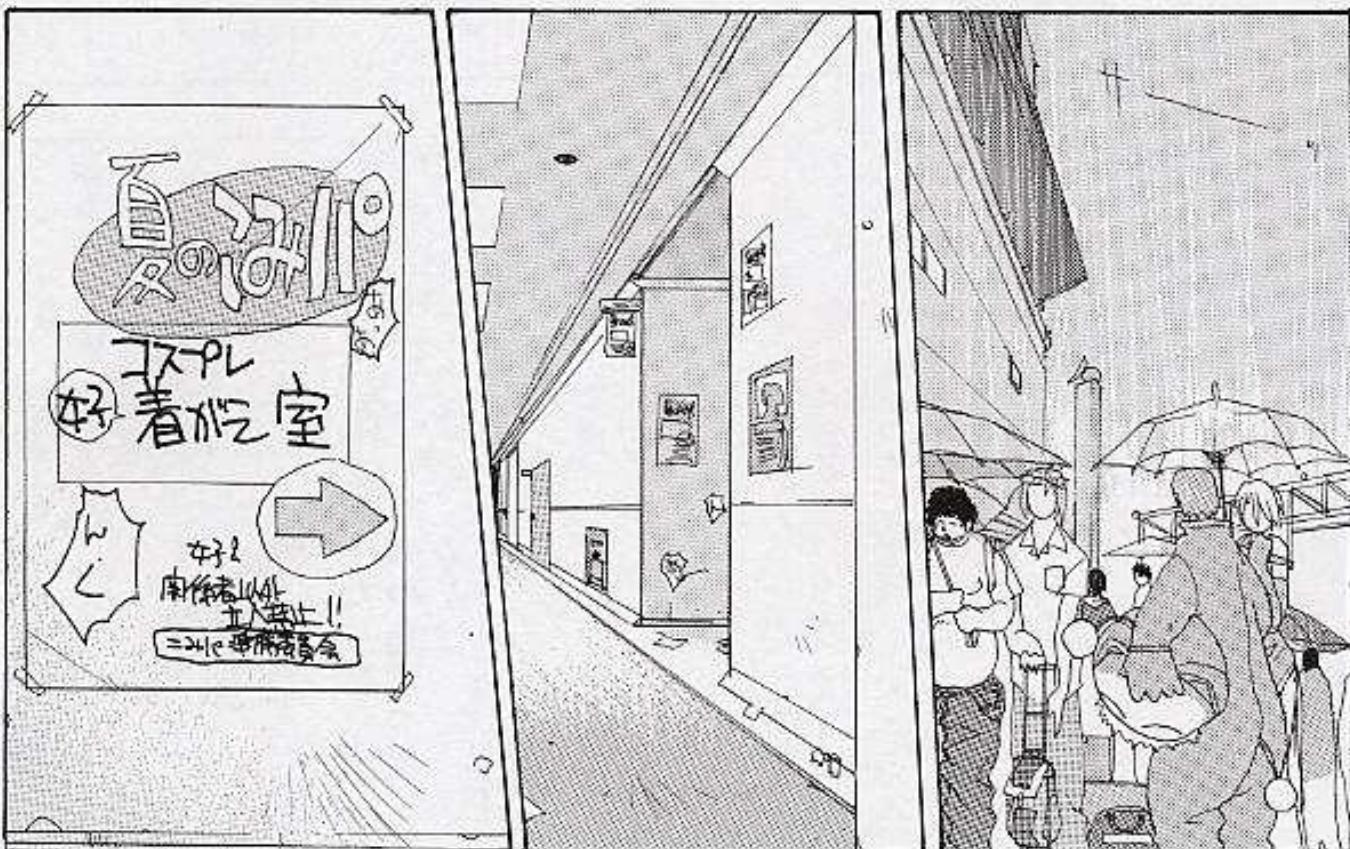
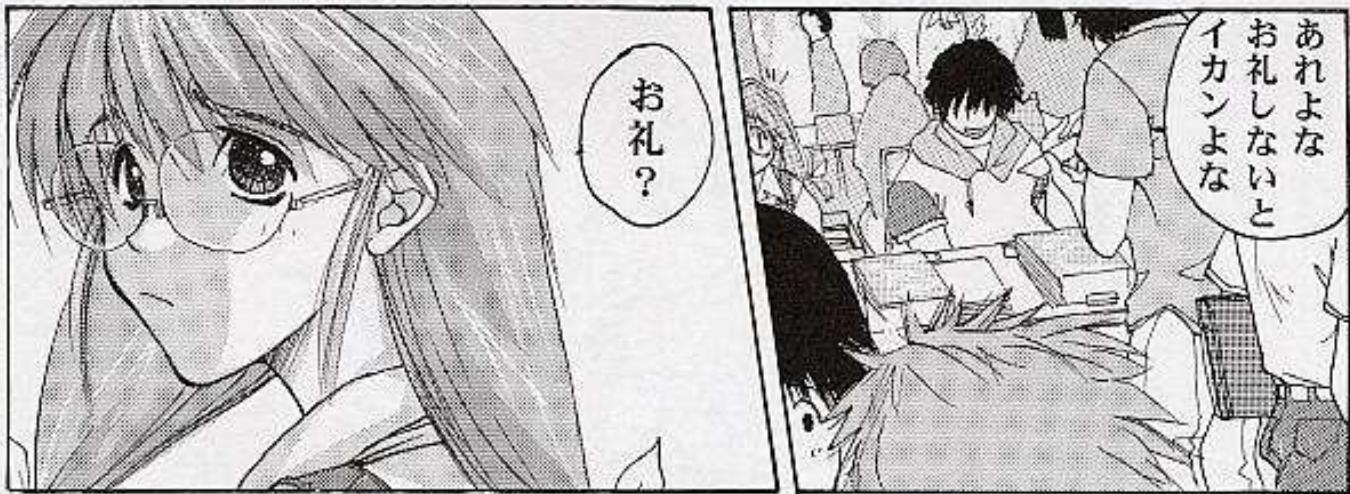




きやううつ











お礼
だつてば

出来る限りで
かなえてやるぜ？

お礼

んんっ

ふつく

アンタと
…が見たい

はあ

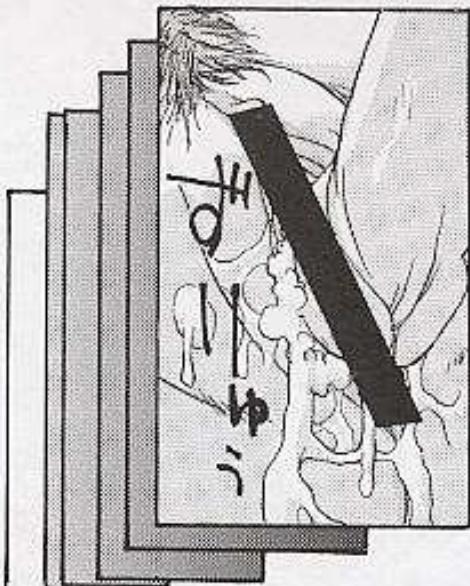


あはああ

しおうが
ホラツ
ねーな









我が野望
こみパ征服
：：それを
装束で表現
したまで：
深く
考えるなつ

フリ
フリ
フリ

野望の礎

：：要はウチにえげつない
エロ同人描かせてボロ儲け
しようつてハナシやろつ！

ふつ・：：さすが
いい勘だッ

誰がする
かいツ
お断りや

別に交渉の為に
来て貰つた訳では
ない

人を支配
するのは
造作もない

特に
女性の
場合はツ

あおお本當に
あの辛味亭の
猪名川由宇だ
あ♡

俺ずっと前から
ファンだつたんだよお

ひひツ白パンツ
丸見えつ♪

ひつ!?

結構色っぽいじゃん
胸無えーけどさつ





○ 例えは萌え萌えの
○ ルチをさあ……

後生やあ……
ソコは
堪忍してええ……つ

バツクから
思いつきり
犯すマンガつ

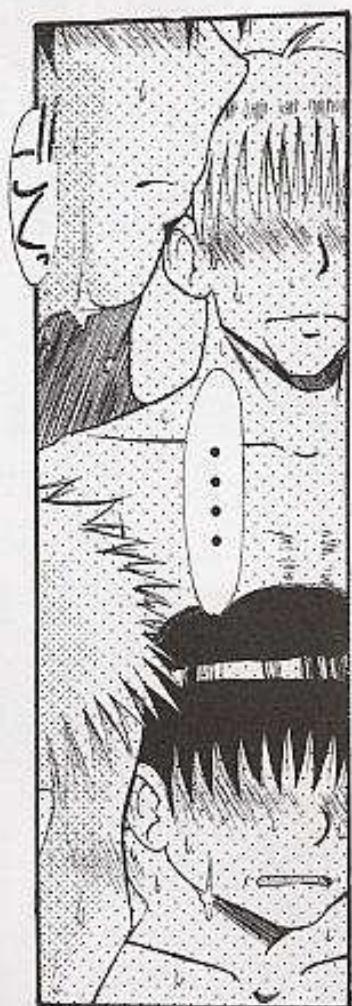
あツあつ
うああ

こんな風に
さあツ!!

やあああ

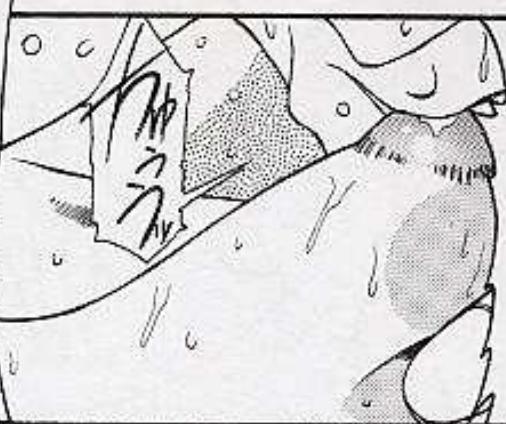
ぼつ僕はつ僕はね
綾○お嬢様が…

…嫌やあ…
妊娠してしまうウ…う





もう辛抱
たまらんつ



順番なんか
待つて
られるかツ



やああツ
あああんツ







まあ良い
コレはコレで
まだ使い様が
ある



どうだ？

条件反射で
ベタ・トーンをこなし
性欲処理にも
使える……

あんつ
ああツ

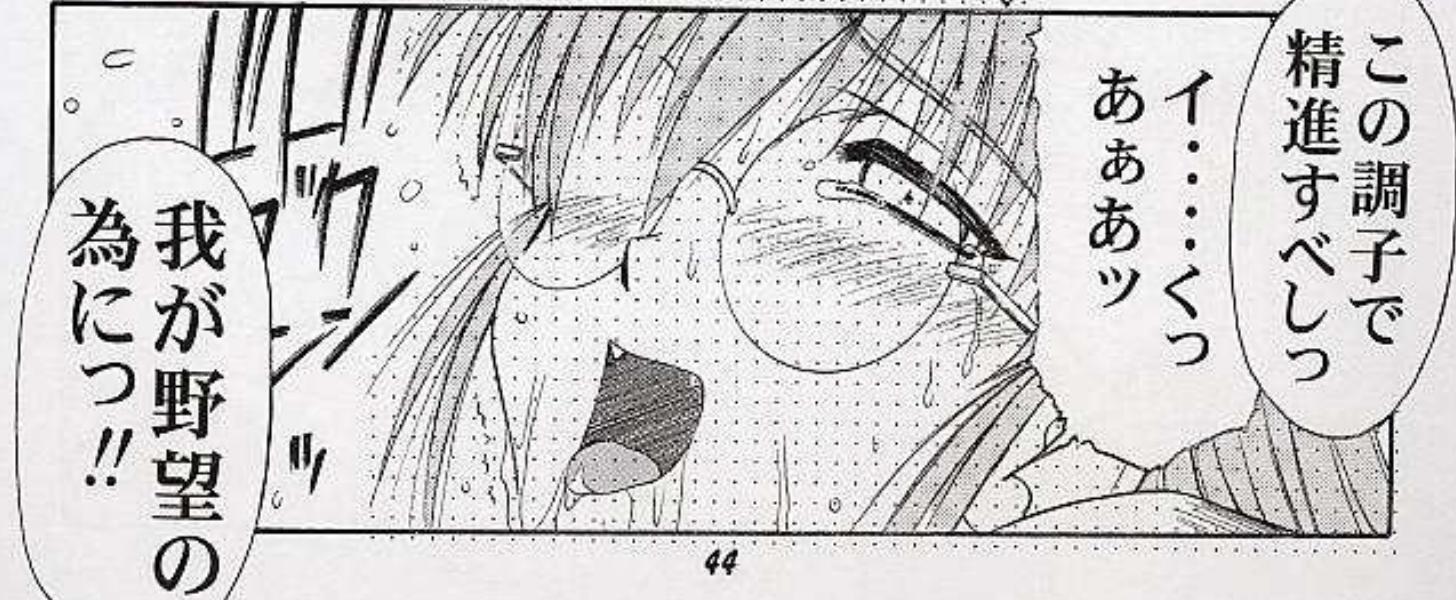
最高のアシだろう
まい同志和樹つ

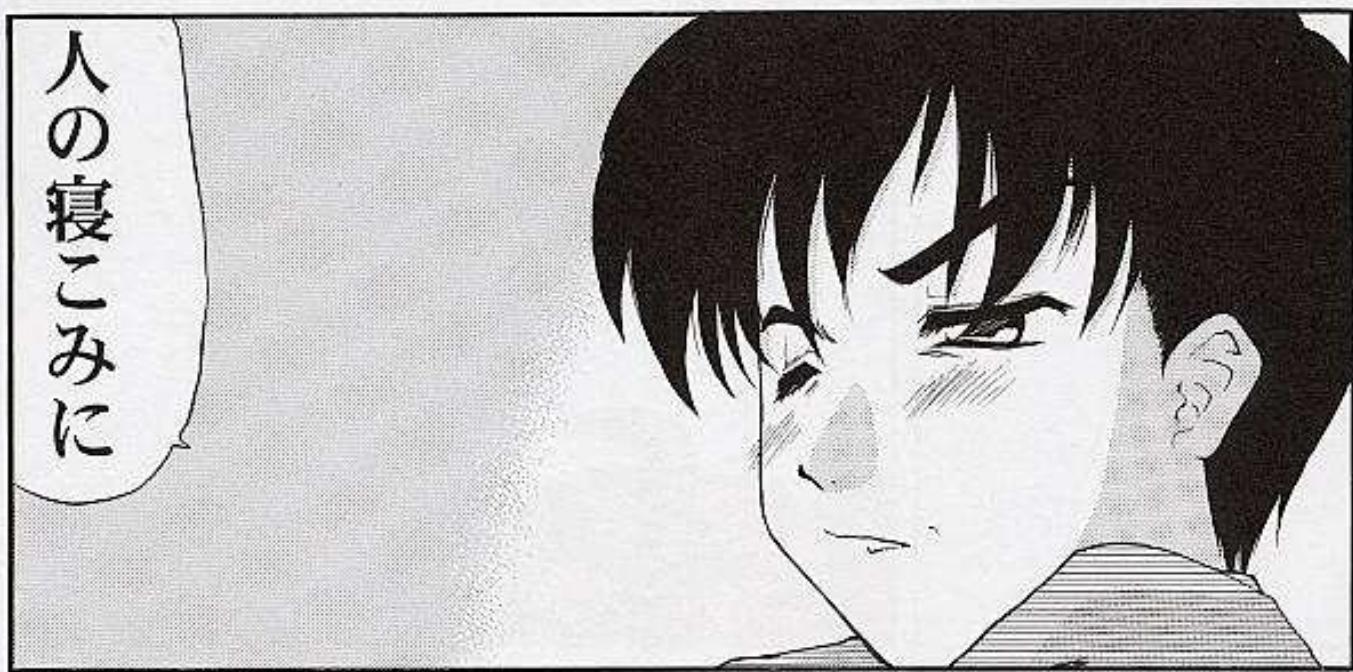


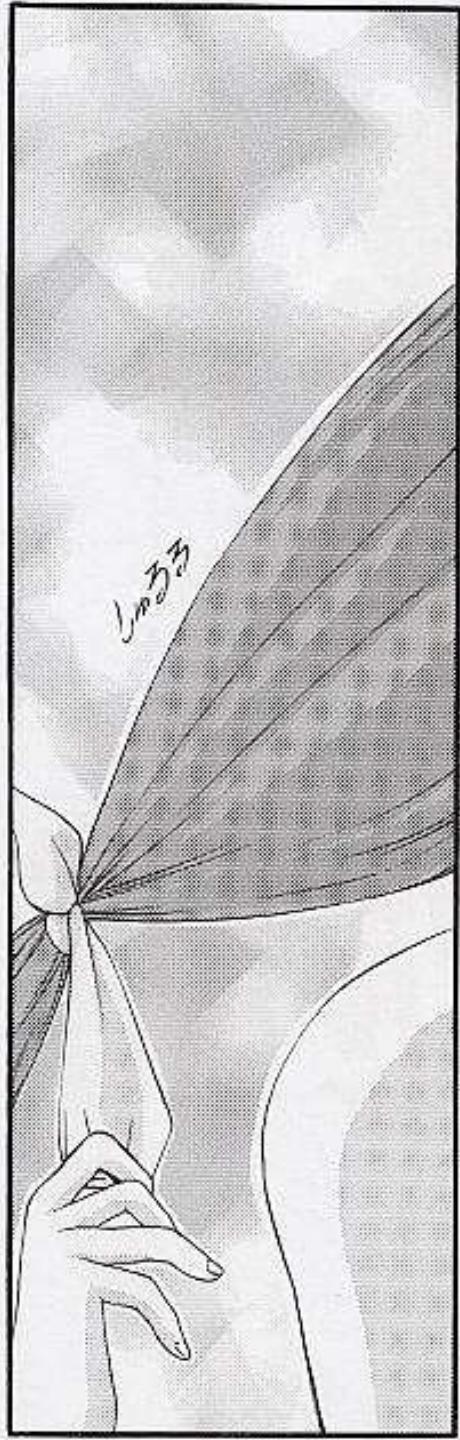
この調子で
精進すべしつ

イ……くつ
あああツ

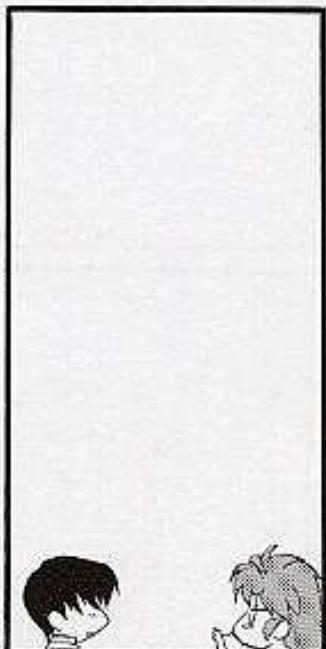
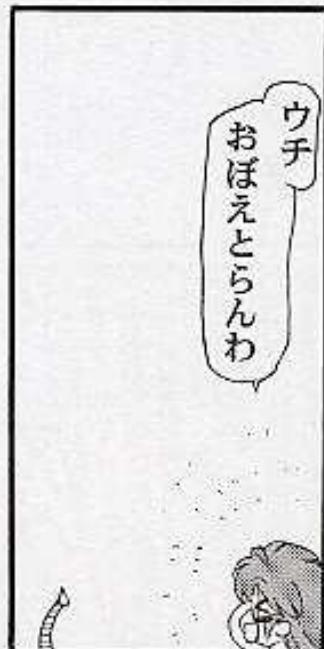
我が野望の
為につ!!











猪名川由宇

PRESENTS

女は
わたし

気がついたら

うた
—イブの記憶—

太古にいたー
そこの

荒野。

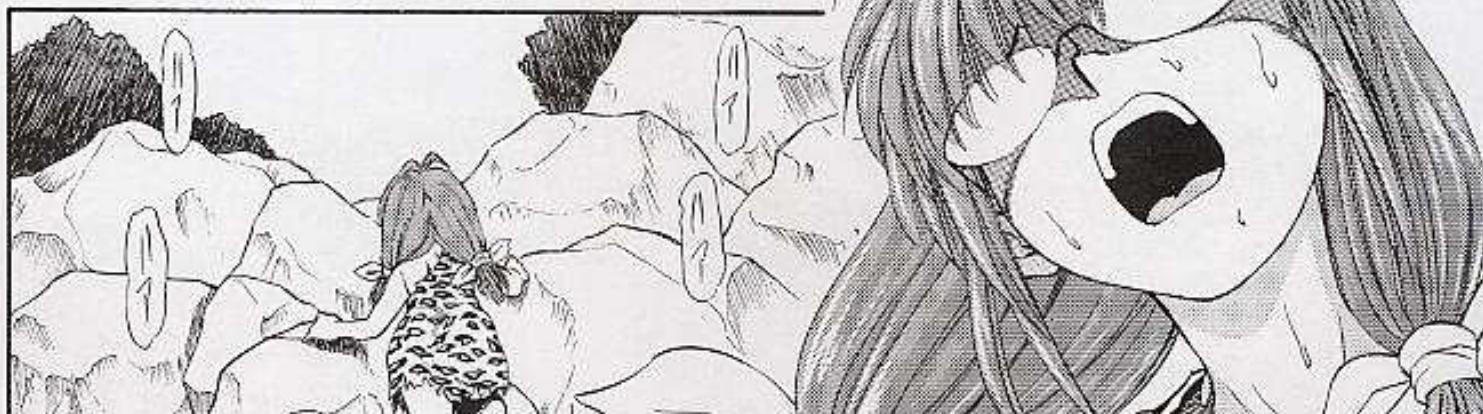
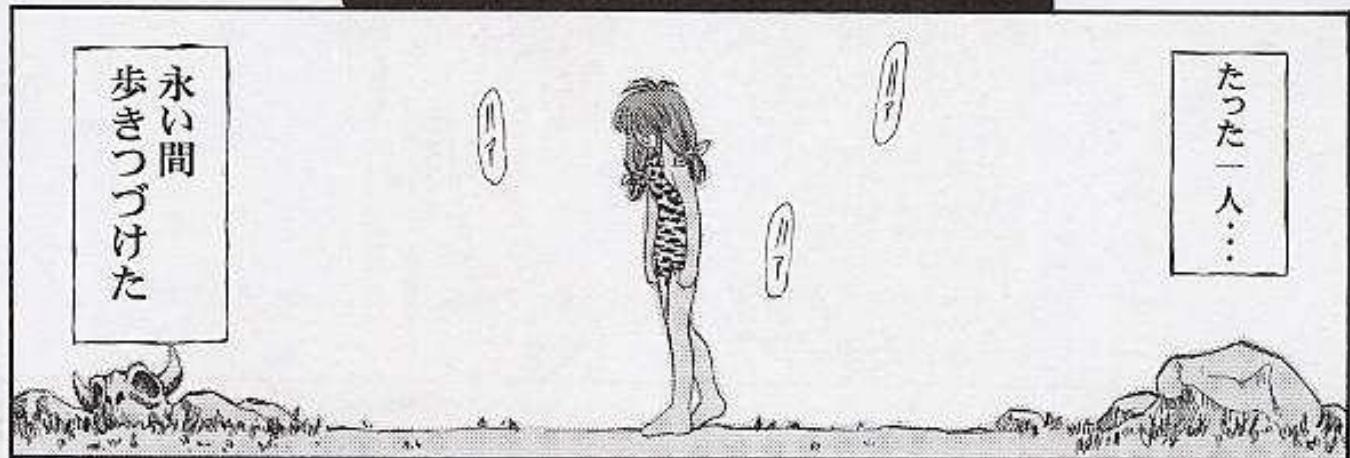
父の顔も

母の顔も

もう思い出せない…

永い間
歩きつづけた

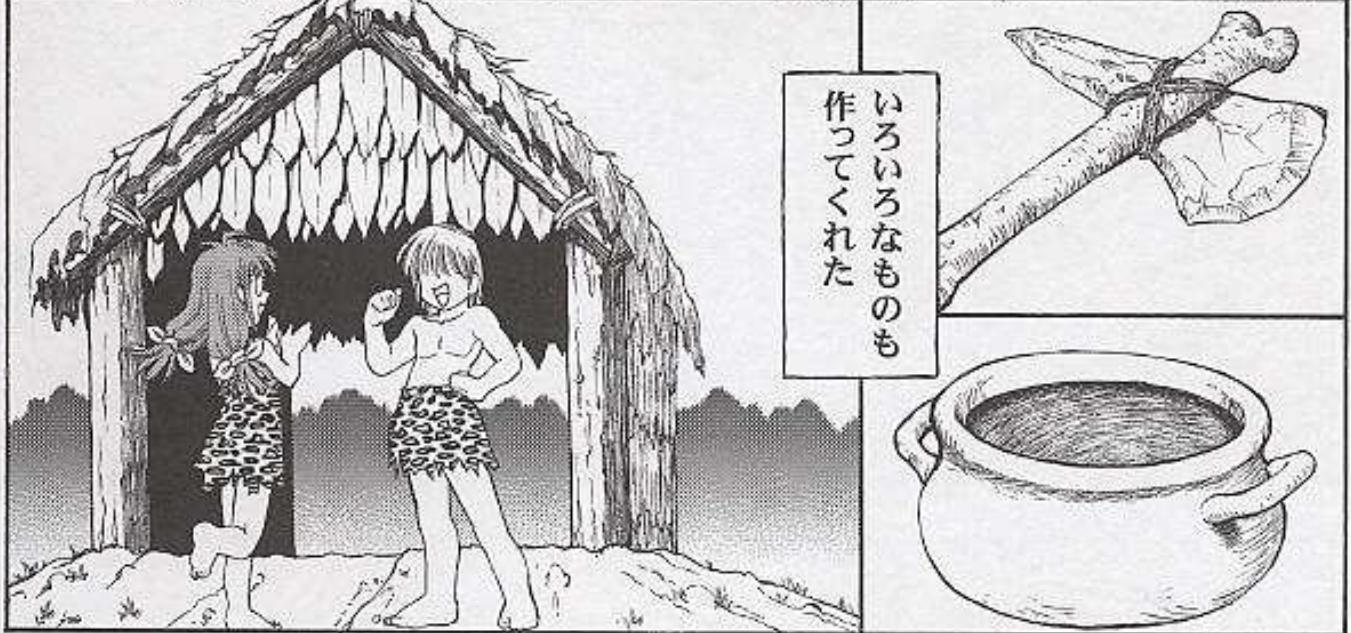
たつた一人…



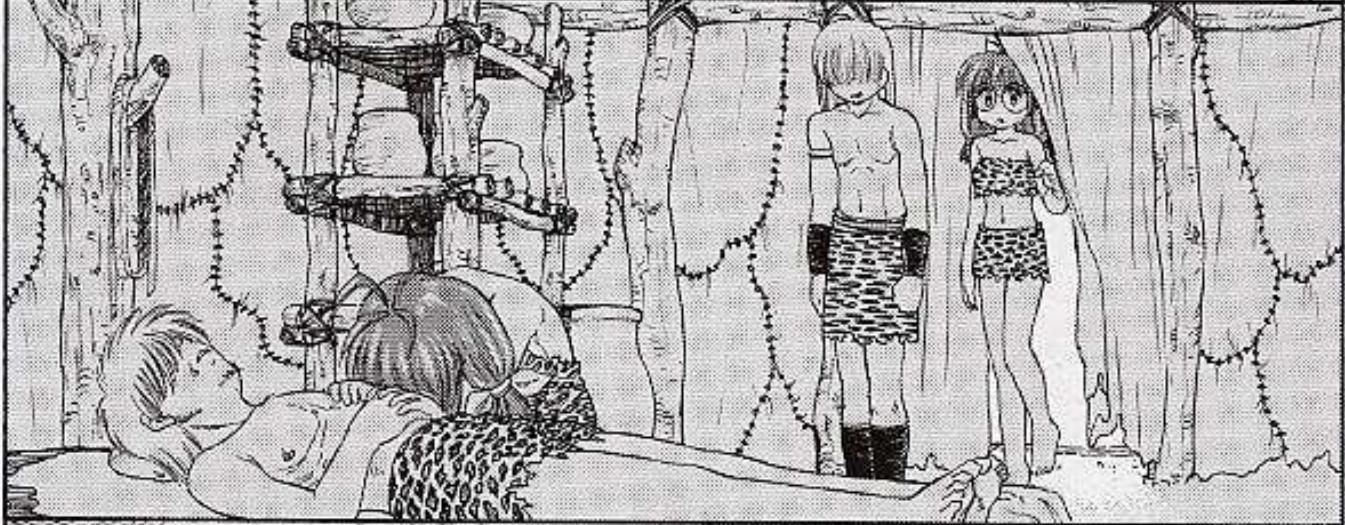
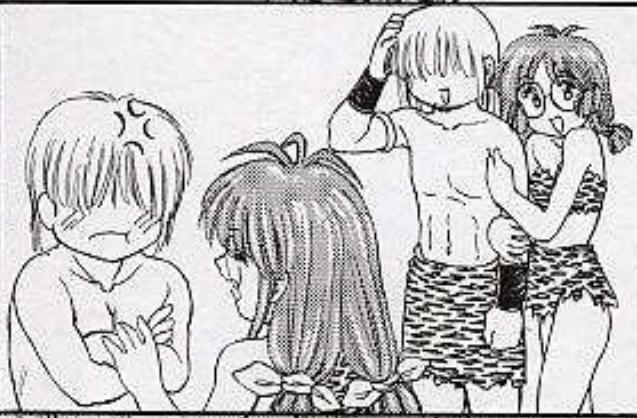




それからは……



でも……



わたし
女はまた一人……

とき
刻がたつと



再び出会えても



あなた
男は小さな小さな記憶を

わたし
女のの中に残し

いつてしまう……



再会

別離

再会

別離

再会
別離

いつも

いつも

私はあなたの生きた証を受け

命を紡ぐとき…

あなたの作ってくれた
この世界で

そして…

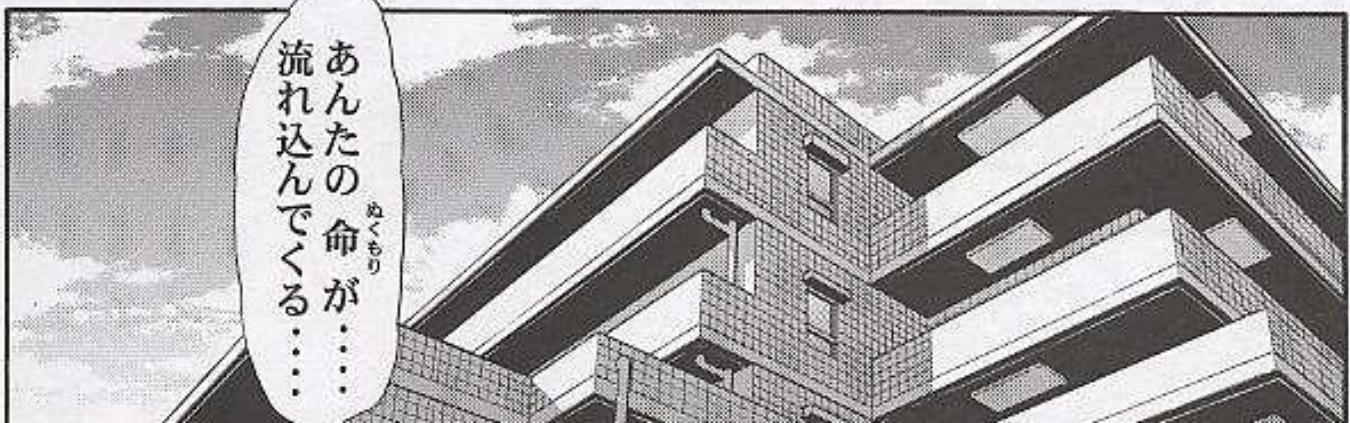


あああ



カズキ…

あなたの命が…
流れ込んでくる…
ぬくもり





カズキ……

女が紡ぎたい思う
命の相手は……

誰でもええわけや
ないねんで……









はい、六条です。ギリギリまで
待てもらってしまってどうぞスミマセン。

さて、次回は南さん
ですかね？

さあたゞ映画「X-MEN」
<http://www.mine.ne.jp/m.rokujo/>





さあー、今月も「佐亞子の今ントコお気に入り」がはじまるよー。
みんなあつまれー。部族そろってよんでもね♥

第4話

◆佐亞子の今ントコのお気に入り♪▶ 佐亞子の今超!お気に入りは「ミルクティー」
女の子は皆、ミルクティーが好きだ"と思ってる人がたくさんいますが、佐亞は、ついこの間、
やっと飲めるようになったんです(笑) … あれは、忘れてない、小学5年生の時!!
カフェオレだと信じて飲んだ"液体が、実はミルクティーだったんです!!(だって、色も
似てるでしょ?)その時、生まれて初めてミルクティーを飲んだのですが、カフェオレだと、
思ってたから、ビックリ仰天!!すぐ変な味でXXX。それ以来、ずっと飲んだ事が
なかったのですが、先日、一口飲んでみたら、意外とイケル♥ 普段はコーヒー派の
佐亞でしたが、今ではミルクティーのどりニ♥お砂糖を入れても、入れなくても、
おいしー♪ なんだか、ほっカとする味ですね。ただし、"スペシャルロイヤル
ミルクティー"とか言って、冷たいミルクティーにホイップクリームを浮かべてるのは
ダメですよ!! あれって、絶対邪道ですよね?! こう思ってるのは佐亞だけかな?!

鉄舟齋の言霊

皆さん、今回もマンガース・スタジオ発行の同人誌を購読していただき
まして誠にありがとうございます。おかげさまで通巻4冊目となります
ここまでこれたのも一重に皆さんのお支えがあってこそでございます。
これからも皆さんにご支援いただけるような同人誌づくりを目指してが
んばっていきたいと思います。

唐突ですが、思い起こせば「きよせやっぱりイヤだらー」という1
本の電話から始まりました。ここで質問ですが普通、賃貸契約が決ま
ってからそんなこと言う奴います? や、ま、そのなんだ、いいんで
す。もうそんなことは。それより人の頼みではストレートに嫌みを言う
あれはなんですかね。あらーわかった、あれが礼儀作法に厳しい家族な
んだよね。もう最近毎日ねむいっス。映画はおもしろいし、せんべいは
うまいし、カロリーメイトもおいしいな。……。
わかってます、わかってますよ。来月こそ解約にいきます。
だって収入の50%占めてるもんなぁーもう!!!

つづく

由宇でいこう!! 誌名
マングース・スタジオ 発行元
名見耶鉄介 著
2000年10月29日 発行日
PICO 製版・印刷
tt-j@aat.mtci.ne.jp 連絡先
無断複写・無断転載を禁止/18歳以下・影響を受けやすい・酒嗜がわからない人は閲覧禁止です。厳守事項

Не успела Золушка принести ящериц, как волшебница превратила их в шестерых слуг, одетых в расшитые золотом ливреи. Они так ловко вскочили на занятки кареты, как будто всю жизнь ничем другим не занимались.

— Ну вот, теперь можешь ехать на бал,— сказала волшебница Золушке.— Довольна ты?

— Конечно! Только как я поеду в этом гадком платье?

Волшебница коснулась Золушки своей палочкой, и старое платье мигом превратилось в наряд из золотой и серебряной парчи, богато расшитой драгоценными камнями. В придачу волшебница подарила ей пару хрустальных туфелек. Свет не видел ещё таких красивых туфелек!

Пышно разодетая, Золушка уселась в карету. На прошение волшебница строго-настрого приказала ей вернуться до того, как часы пробьют полночь.



Волшебница задумалась:

— Откуда бы взять кучера?

— Пойду посмотрю, не попала ли в крысоловку крыса,— сказала Золушка.— Из крысы можно сделать кучера.

— Верно! — согласилась волшебница.— Пойди посмотри.

Золушка принесла крысоловку, где сидели три большие крысы. Волшебница выбрала одну, самую крупную и усатую, тронула её своей палочкой, и крыса превратилась в толстого кучера с пышными усами.

Тогда волшебница сказала Золушке:

— В саду, за лейкой, сидят шесть ящериц. Пойди привнеси их мне.

for ADULT ONLY

© 1991 G. G. G.